

## 2022年度 小委員会活動成果報告

(2023年2月8日作成)

小委員会名	軽鋼構造設計施工指針改定小委員会	主査名：竹内 徹 就任年月：2021年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)	委員長名：五十田 博 (主査名：五十嵐規矩夫)
設置期間	2019年4月 ～ 2023年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本会「軽鋼構造設計施工指針・同解説」は1985年に現在の形で整備された後、永らくそのままの形で利用されてきた。今回、1985年以降の新しい知見や各種法規定を反映させた改定を行い、軽微な鋼構造物設計の需要に答える。</p> <p><b>初年度</b>：指針全体の改定方針を議論し、各章の執筆担当者を決定するとともにおおまかな構成案を作成する。</p> <p><b>2年度</b>：各担当者が中心となって具体的な原稿案の執筆を行い、必要に応じ検討事項の調査研究を行う。</p> <p><b>3年度</b>：最終的な原稿案の取りまとめを行い、小委員会内での査読を通じて内容を確定する。</p> <p><b>4年度</b>：建築学会大会でPDを開催し、小委員会の成果を公開するとともに、鋼構造運営委員会、構造本委員会における査読を実施する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：竹内 徹 (東京工業大学) 幹事：五十嵐規矩夫 (東京工業大学) 委員：小野徹郎 (名古屋工業大学名誉教授)、金箱温春 (金箱構造設計事務所)、 酒井七生 (大建情報システム)、佐藤篤司 (名古屋工業大学)、佐藤公亮 (東北大学)、 藤内繁明 (日本製鉄)、増田浩志 (宇都宮大学)、松井良太 (北海道大学)、 吉田文久 (大和ハウス)	
設置WG (WG名：目的)		
2022年度予算	230,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：—

項 目	自己評価
委員会開催数	3回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	1. PD：軽鋼構造の新たな可能性を探る 参加者数 158名(オンライン) 『構造部門(鋼構造)パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>4年目となる2022年度は、改定原稿の小委員会内査読、鋼構造運営委員会内査読対応を終え、現在構造本委員会における査読を実施中である。</p> <p>併せて2022年日本建築学会大会(北海道)においてパネルディスカッション「軽鋼構造の新たな可能性を探る」を実施し、オンラインであったが参加者数160名を得、指針改定内容に関する活発な議論とご意見を頂いた。</p>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<p>コロナ感染下のため全てオンライン主体の小委員会開催を行っているが、9月の大会PDでは対面での議論が行なえ、意思疎通も含め順調に運営されていると考ええる。</p> <p>設置期間中での改定指針の刊行が行えなかったため、改定小委員会を2年の期限で再設置し、査読対応および刊行対応、講習会の実施を行う予定である。</p>